

記事内容

- ☆2023年度政策・制度要請
- ☆第31回チャリティゴルフ大会
- ☆青年委員会「連合青年交流会」
- ☆ネット21運動「自然体験プランin尾瀬」「山の学校inときがわ」
- ☆第3回地協議長・事務局長会議/メンタルヘルス研修会
- ☆愛のキャンパ地域助成/第18回定期大会公示
- ☆10月の行動予定表/パルシステム埼玉お知らせ
- ☆あけぼのビル

埼玉県知事に対する政策・制度要請

働く者・生活者の視点で取りまとめた9分野30項目を要請!



9月21日(木)10時から大野 元裕埼玉県知事に対して、近藤会長、前原副会長職務代行、平尾事務局長、大谷副事務局長の4名で訪問し、9分野30項目にわたる「2023年度政策・制度要請書」を提出しました。

冒頭、要請書の提出にあたり、近藤会長から「私たちは『働くことを軸とする安心社会—まもる・つなぐ・創り出す—』の実現に向けて、働く者・生活者の立場に立った政策実現を軸に広範にわたり研究・検討を重ね、要請内容をとりまとめました。本要請は、雇用の安定と公正労働条件の確保およびすべての世代が安心して働き続けられる社会へと転換をはかり、ジェンダー平等をはじめとする多様性の実現などをつうじた、誰一人取り残されることのない社会の実現ならびに社会の様々な課題・不安の解消に向けた要請内容となっています。

つきましては、大野県知事の強いリーダーシップのもと、関係箇所と十分な連携をはかり、迅速な対応をはかっていただくとともに、本要請が勤労県民の総意として受けとめていただきたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします」などの挨拶が述べられ、要請書を手渡しました。

一方、要請を受けた大野知事からは、「連合埼玉の皆様、また、埼玉県労働者福祉協議会の皆様には、日頃の県政に対する御支援、御協力に厚くお礼申し上げます。皆様には、日頃から労働者の生活の安定・安心及び社会的地位の向上に寄与した活動をおこなっていただき敬意を表します。

連合埼玉からの要請について、私よりコメントさせていただきます。

『1. 総合経済・産業政策』のうち、『3. 地域を支える産業の成長、人材の確保・育成のため、産・官・学・労等が連携して取り組む枠組み創設』についてです。

県では、令和2年5月に、産・官・学・金・労を構成員として近藤会長にも御参加いただき、『強い経済の構築に向けた埼玉県戦略会議』を立ち上げ、各主体がそれぞれの役割を明確にしながら、埼玉県全体としてビジョンを共有し、社会実装する施策・事業を展開してまいりました。改めて御協力に感謝申し上げます。

ご指摘のような課題について議論する場としても、この会議を活用することが適当ではないかと思えます。この会議の枠組みは得がたい形で動いておりますので、今後も維持・発展させ、御提言の産業構造の転換に際しての「公正な移行」の中における産業人材の確保・育成についても、中・長期の課題と捉え、継続的に議論の俎上に上げていきたいと思っております。

これからも、皆様には労働者、県民の代表として、御提案をお願いいたします。あわせて、県政に対するより一層の御支援、本日御要望いただいた中でも、これから取り組みをする中で御協力いただかなければならないものが多数ございます。是非よろしくお願いいたします」などのコメントが述べられました。

今後、連合埼玉では、11月に県の関係部局との意見交換をおこない、次年度の予算編成に反映されるよう取り組みを進めていきます。また、各地域協議会においても、11～12月にかけて該当エリア内の市町村に対して、政策・制度要請をおこなう予定となっています。

第31回チャリティーゴルフ大会

9月20日(水)高根カントリー倶楽部にて、「連合埼玉第31回チャリティーゴルフ大会」を開催しました。

当日は、残暑により参加者の皆さん汗をかきながらのプレーとなりましたが、昼食やプレー終了後クラブハウスに戻る参加者の表情は明るく、楽しくプレーしていただけたと感じています。

今年については、コロナ禍で見送っていた表彰式・抽選会も開催し、自分や仲間の成績に一喜一憂するとともに、抽選で自分が当たるかドキドキしながら楽しんでいただきました。

優勝については、自治労埼玉から参加いただいた高

縄 利之さんとなりました。その他表彰については、下記の順位表を参照ください。

抽選会においては、多くの産別・福祉団体・協力企業から協賛いただき、参加者全員がもれなく当選しました。抽選会の目玉となる「会長賞」については、自動車総連から参加いただいた二宮 誠さんが当選し、近藤会長から直接賞品が手渡されました。

今回の目的であるチャリティー募金については、多くの皆様にご協力をいただき、200,894円の募金が集まりました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

【チャリティー募金結果】

200,894円

ご協力いただいたチャリティー募金は「ふれあい募金」に活用させていただきます。



優勝
高縄利之さん(自治労埼玉)



準優勝
井上隆明さん(情報労連)



3位
山岸修さん(中央労金)



ベストグロス
井上隆明さん(情報労連)



会長賞
二宮誠さん(自動車総連)



閉会挨拶
今井副会長

順位	グロス	ハンデ	ネット	組織名	氏名
優勝	78	7.2	70.8	自治労埼玉	高縄 利之
準優勝	76	4.8	71.2	情報労連	井上 隆明
3位	102	30.0	72.0	中央労働金庫	山岸 修
ベストグロス	76	4.8	71.2	情報労連	井上 隆明

2023青年交流会(茨城・群馬・栃木・埼玉)を開催 (株)JERA常陸那珂火力発電所を見学

9月1日(金)～2日(土)、連合茨城・連合群馬・連合栃木・連合埼玉の青年委員会幹事による青年交流会を開催しました。

1日目は(株)JERA常陸那珂火力発電所を視察しました。火力発電というとCO₂の排出が多く、環境影響があると思われがちですが、JERAは、2050年時点で国内外の事業から排出されるCO₂をゼロにするゼロエミッションに挑戦しています。これは火力発電の燃料を従来の石炭・LNGから、燃焼時にCO₂を出さないアンモニア・水素へ切り替え「ゼロエミッション火力」を導入することで、再生可能エネルギーとの相互補完による電力の安定供給と2050年の脱炭素化をめざしているものです。

施設概要について説明を受けた後、施設内を案内し

ていただきました。従業員の姿はほとんどなく、全ては電子制御で運行されてました。唯一、集中管理室でのモニターチェックを人がおこなっており、三交代制で昼夜監視しているとのことでした。

今回の視察では、日本の将来のエネルギー問題を考えるきっかけとなりました。

その後、茨城の名所である大洗磯前神社の神磯の鳥居を参拝し、ホテルで各青年委員会の活動報告をおこないました。



1日目 集合写真



屋上から海を望む



大洗磯前神社の神磯の鳥居

2日目は宿泊先のホテルレイクビュー水戸において講演会を開催しました。

講演1として、連合茨城青年委員会のOBであり、先の統一地方選挙において初当選を果たした日立市議会議員の高橋 央氏から「議員になって感じたこと」と題し、講演をしていただきました。

初めて立候補の話を受けたときは、頭が真っ白になり、数日間悩んだものの、奥さんと父親のアドバイスにより決断したとのことでした。

政治の世界に触れた体験を青年層に伝え「もっと政治に関心を持ち、身近に感じてもらえるように取り組む」と決意も語られました。

講演2では、RAINBOW茨城の滑川 友理氏による

「LGBTQの基礎知識」の講演がありました。

この講演は、茨城青年委員会メンバーが、交流会で「是非とも他の青年層にも聞いて欲しい」との思いから設定されました。

講義では、自分が持って生まれた性別への違和感。それにより、誤った反抗心を持ち、荒れた生活を送ったこと。自分に正直になることで、心が開放され前向きになったこと。同姓パートナーとの別れと母親にカムアウトしたときなどの感情を率直に語っていただきました。講演の最後には、先輩がセクシュアリティを本人の許可なく言いふらされたことで自殺した経験から、「アウティング(他人の性について勝手に言いふらす行為)は絶対に止めて」という訴えが心にしみました。



2日目 集合写真



日立市議会議員 高橋 央氏



RAINBOW茨城 滑川 友理氏

ネットワークSAITAMA21運動の自然体験

4年ぶりに開催！ 夏休み親子・ファミリー自然体験プランin尾瀬

ネットワークSAITAMA21運動では8月19日(土)～20(日)に構成組織の組合員とその家族、事務局をあわせた28名で尾瀬の自然に触れ、自然の大切さと保全の重要性などを学ぶ機会として「夏休み自然体験2023in尾瀬」を4年ぶりに開催しました。

1日目は昼食後に出発し、全長8.8km先の東電小屋をめざしました。この日の尾瀬は朝から雨で出発して間もなく、石張り階段を下る途中で突然雨脚が強くなり、防雨具を羽織っての歩行となりました。雨に濡れながらもガイドから尾瀬の自然について説明を受け、16時前には東電小屋に到着しました。

前日の雨により2日目の朝は、朝靄に包まれた風景を目にすることができ、運よく虹を見た人もいました。



参加者のみなさん



自然について説明を受ける

出発時には快晴となり、汗に濡れながら、高山植物をはじめとする尾瀬にしかない貴重な自然を体験することができました。

参加者の最年少は4歳男児。最後に待ち受けるキツイ登り坂も自力で踏破して、無事到着しました。その後には大スコールがありましたが、尾瀬での二日間は様々な表情を私たちにを見せてくれました。



木道を往く①



木道を往く②



快晴の尾瀬

こちらも4年ぶり！ 夏休み親子自然体験教室「山の学校inときがわ」

新型コロナウイルスの影響により2019年以降休止していた「山の学校inときがわ」を、8月26日(土)に27家族97名(うち2名スタッフ兼務)とボランティアスタッフ22名・事務局6名の参加により、4年ぶりに開催しました。

当日はときがわ町玉川地区の川の広場バーベキュー場において、水遊びとバーベキューを楽しむ「川の広場バーベキュー場での川遊びコース」と、ときがわ町大野地区の都幾川上流の探検後に、バーベキュー場へ合流する「とき川上流での川遊びコース」の2コースを設けました。県内各地から集合した参加者は猛暑の中、テント設置から水遊び・バーベキュー・子どもスイカ割りと、豊かな自然を十分満喫しました。

普段とは違う遊びに触れて、子どもたちは大興奮でした。水遊びの後には、家族でバーベキュー、そしてお楽しみのスイカ割り、家族の貴重な夏の思い出にしてもらえたと思います。

また、このイベントにはNPO法人 ときがわ山里文



川遊び



家族でバーベキュー



スイカ割り



スイカをおいしくいただきました

化研究所による事前の「とき川上流での川遊びコース」の整備や、当日のコース案内・バーベキュー用「竹炭」の提供など、全面的なご協力をいただきました。

ご支援ありがとうございました。

政策・制度要請の説明と二つの選挙総括

～ 2023年度第3回地協議長・事務局長会議を開催 ～

8月31日(木)ときわ会館にて、2023年度第3回地協議長・事務局長会議が12地協17名の役員と5名のアドバイザーの出席のもと開催しました。

冒頭、近藤会長の挨拶において、「第20回統一地方選挙」と「埼玉県知事選挙」における地域協議会の皆さんの活動に対する御礼がありました。

続いて大谷副事務局長より、各地協から市町村に対しておこなう「2023年度政策制度要請」の説明がありました。本年度は9分野33項目の要請となり、9月5日(火)の第10回執行委員会にて最終確認した後、県に対しては、9月21日(木)に埼玉県知事に要請し、11月7日(火)に関係部局との打合せをおこないます。今後、

地域協議会の皆さんには、該当する市町村要請をしていただき、引き続きのご支援とご協力をいただくこととなります。

続いて、「第20回統一地方選挙」総括(案)、「埼玉県知事選挙」総括(案)について大谷副事務局長から説明がありました。

10月からは地域協議会と地域事務所の連携が一層求められる組織運営となります。今まで以上に地域協議会と地域事務所がしっかりと情報を共有し、一つひとつ取り組んで行く必要がありますので、皆様のご協力をお願いします。



会場の様子

【2023年度第3回地協議長・事務局長会議議事】

1. 2023年度政策・制度要請
2. 2023年度「地協ブロック連絡会」「市長・町長政策懇談会」の開催について
3. 「第20回統一地方選挙」総括(案)について
4. 「埼玉県知事選挙」総括(案)について
5. その他
6. 地域事務所活動報告

「働きやすい職場づくりに向けて」

メンタルヘルス研修会(基礎編)を開催しました!

9月12日(火)、あけぼのビル501会議室にてメンタルヘルス研修会(基礎編)を開催しました。当日は28名の組合役員ならびに会社担当者に出席いただきました。

冒頭、連合埼玉を代表し、労働政策委員会委員長の二階堂副会長より「コロナ禍により多くの企業でテレワークが急速に広がった。そのような環境の変化もあり、メンタル不調者が増えている状況にある。連合埼玉では、応用編と基礎編として年間2回の研修会を開催しているが、本日の基礎編で知識を深めていただき、今後の活動に生かしていただきたい」と挨拶がありました。

講義では、日本カウンセラー協会シニア産業カウンセラーの綾部 和幸氏より心と健康の守り方と働きやすい職場づくりの基礎知識として、予防のための睡眠や食事について、セルフケアとしての呼吸法、職場における相互サポートの重要性などが説明され、

最後にコミュニケーションの改善として傾聴についての講義とペアワークをおこない終了となりました。

参加者からは、「わかりやすく参考になった」「職場の皆さんに受けてほしい」「新入社員など働き始めた人たちの研修として有効と感じた」など、組合・職場で活用したいとのご意見をいただきました。

連合埼玉は、メンタルヘルスに対する取り組みを継続しますので、皆様のご参加をお待ちしております。



二階堂副会長



講師:綾部 和幸氏

「連合・愛のカンパ」地域助成・支援団体決定

「自由、平等、公正で平和な世界の実現」に向けて

「連合・愛のカンパ」は、「自由、平等、公正で平和な世界の実現」に向けた社会貢献活動として取り組むもので、NGO・NPOなどの事業・プログラムへの支援、および自然災害などによる被災者に対する救援・支援を目的としています。

今年の3月までの間、連合埼玉では、組合員およびその家族、あるいは退職者が積極的にNPOなどの運営に参加している団体や日常的な活動で連携しているNPO団体のおこなう事業・プログラムについて募

集したところ、下記の2団体から応募があり、それぞれの団体の活動内容を確認後、4月に連合本部に助成申請をしました。

6月以降、連合本部の「連合・愛のカンパ」作業委員会および連合本部の中央執行委員会で審議の結果、連合埼玉から申請した2団体の助成が決定しましたので報告します。

本年は4年振りに11月開催の定期大会に助成を受けた団体を招き、活動内容を含めた紹介をします。

加須ふれあいみんなの家

- ①だるま市に参加して福島県内や全国に避難している双葉町民と再会し交流を図る
- ②加須市で「交流会」を開催し避難所生活で強まった絆を確かめ合うと併せて情報交換の場を提供する
- ③他団体の先進事例を学び、新しい避難者支援の在り方を学ぶ

ふじみの国際交流センター

- ①東上線沿線日本語教室ガイド(日英表記)の作成
- ②外国籍住民人のためのフードバンク事業
- ③国際子どもクラブ参加者、日本語教室の学習者の合同遠足

2023年9月13日
日本労働組合総連合会
埼玉県連合会
会長 近藤 嘉

公 示

連合埼玉規約第16条ならびに第19条にもとづき、第18回定期大会を下記のとおり開催する。

記

1. 日 時 2023年11月15日(水)10:00～
2. 会 場 ロイヤルパインズホテル浦和 4階 ロイヤルクラウン
さいたま市浦和区仲町2-5-1
TEL:048-827-1111
3. 主要議事 (1)連合埼玉規約・規定の改定について
(2)2024年度～2025年度 運動方針(案)について
(3)2024年度 予算(案)について
(4)2024年度～2025年度 役員の選出について
(5)その他

以上

現在予定される10月の日程表です

10月	行事等	
	連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日 日		嵐山町議会議員選挙投票開票日
2日 月	議員会議「第5回幹事会」(17:00～・連合埼玉会議室)	
3日 火		埼玉労働局「第7回最低賃金審議会」(9:30～・埼玉労働局)
4日 水		連合本部「第18回定期大会」(9:30～・京王プラザホテル)
5日 木		行動する国会議員派閥「直諫の会」出版記念パーティー(18:30～・ホテルニューオータニ)
6日 金	第11回四役・執行委員会(～7日)	
7日 土		
8日 日	ネット21「地域セミナー」(13:30～・越谷市中央公民館)	
9日 月		
10日 火	東部ブロック「地協ブロック連絡会」「市長・町長政策懇談会」(10:00～・15:00～・三高サロン)	
11日 水		川越・西入間地域協議会「第5回幹事会」
12日 木		①秩父地域協議会「第13回幹事会」(18:00～・秩父勤労者福祉センター) ②県央地域協議会「第9回幹事会」(18:30～・中央労金上尾支店)
13日 金		中央労働金庫「第2回県推進会議」(14:00～・ときわ会館)
14日 土	ネット21「地域セミナー」(13:30～・熊谷市勤労会館)	①自治労埼玉県本部「第86回定期大会」(13:00～・さいたま共済会館) ②UAゼンセン埼玉県支部「第12回定期大会」(13:30～・埼玉県民健康センター) ③JEC連合埼玉地方連絡会「第22回定期総会」(14:00～・ときわ会館)
15日 日		所沢市長選挙告示日
16日 月		
17日 火	西部ブロック「地協ブロック連絡会」「市長・町長政策懇談会」(10:00～・15:00～・ラ・ポア・ラクテ)	
18日 水	南部ブロック「地協ブロック連絡会」「市長・町長政策懇談会」(10:00～・15:00～・浦和ワシントンホテル)	
19日 木	埼玉公務労協「第10回総会」(17:30～・さいたま共済会館)	
20日 金	青年委員会「2023年度ユースラリー」(13:30～ 21日11:45・ニューサンピア埼玉おごせ)	
21日 土		
22日 日		所沢市長選挙投票開票日
23日 月	九都県市首脳会議への政策・制度要請(15:30～・神奈川県庁)	
24日 火	北部ブロック「地協ブロック連絡会」「市長・町長政策懇談会」(10:00～・15:00～・キングアンバサダーホテル)	
25日 水	組合役員教育プログラム修了証書授与式(16:00～・あけぼのビル)	
26日 木	ネット21「第4回運営委員会」(10:00～・あけぼのビル)	
27日 金		
28日 土	連合埼玉議員会議「2024年度総会」(14:00～・ときわ会館)	
29日 日	金属部門親子ものづくり教室(10:15～・ものづくり大学)	
30日 月		
31日 火		

つくりおきおかずを4品作れる便利なレシピ付き” 食材セット



インターネット
注文限定商品

くらしに合わせて自由に使える

つくりおき肉魚菜菜セット

産直 安心 便利

生協の宅配パルシステムをはじめましょう！

お問い合わせ 0120-860-678 *通話料は無料です。

生活協同組合パルシステム埼玉 受付センター ●受付時間/月～金 9:00～20:00



<埼玉県最低賃金>

10月1日から、埼玉県の最低賃金が1,000円の大体にのり、昨年から41円増加して1,028円(引上げ率4.15%)になりました。その額・率は、埼玉県最低賃金が時間額表示に一本化して以来、過去最大の引き上げとなります。大幅な引上げの背景には、昨年からの急激な物価上昇や2023春闘の集約結果も反映された引上げ額と言えます。

最低賃金は、最低賃金法に定められた時給の最低額であり、埼玉県の最低賃金であれば、埼玉県内で、パートやアルバイトなど働く全ての労働者が最低賃金以上の賃金を支払う必要があります。

また、大きな引上げは、企業内最低賃金額を上回るケースもあり、その場合は、企業内最低賃金も10月1日から引き上げる必要があります。その点も労使で十分に確認する必要があります。

さて、最低賃金の引き上げは、労働者が労働の対価で受け取る賃金に大きな影響があります。私たちの生活に大きな影響がある賃金について、いくつかの視点から考えてみたい。

<賃金支払いの5原則>

労働者の賃金には、「賃金支払いの5原則」があるのをご存知でしょうか。労働基準法第24条に、①通貨払い、②直接払い、③全額払い、④毎月1回以上払い、⑤一定期日払いの原則があります。したがって、「賃金は原則として、通貨で、直接労働者に、その全額を支払わなければならない。そして毎月一回以上、一定の期日を定めて支払う必要がある」こととなります。

しかしながら、実際の賃金は、銀行口座に振込をすることがほとんどですし、組合費など賃金から会社が天引きすることも、多くの組織がおこなっています。

賃金を振込により支払う方法は、通貨払い原則の例外になります。例外の方法については、労働基準法施行規則第7条の2において、労働者からの同意を得た場合のみ、銀行口座と証券総合口座が例外方法で支払うことが可能となっています。そして、2023年4月からは、基準法施行規則が改正され、「指定資金移動業者の口座(〇〇ペイなど)」の利用が一定の条件のもとで追加されました。

また、組合費などの賃金から全額支払う前に控除することは、労働組合など労働者の代表との労使協定(チェックオフ協定)により、控除する項目を労使で確認し、賃金から控除した額を支払うことも可能です。

<電子マネー(デジタル通貨)>

飲食店やコンビニなどで電子マネー決済する方が多くなっています。

特に、新型コロナウイルス感染症の影響から非接触が進んだことから、電子マネーが普及した一因と言われています。

また、今年の4月から賃金の支払いに「指定資金移動業者」に振込ができるようになり、賃金の一部が電子マネーに直接振り込むことも可能となりました。

このような電子マネーは、デジタル通貨(デジタルデータに変換された、通貨として利用可能なもの)の1つと言われています。

したがって電子マネーは、あくまで現金(円:法定通貨)を銀行や管理企業などがデジタル化した通貨になります。銀行系、交通系、流通系、クレジットカード系の電子マネーがあります。現金を持たなくても、使い勝手が良く、現金を持たないことのリスクを軽減できます。一方、カードやスマホ自体の紛失へのリスクもあります。

一方、デジタル通貨には、仮想通貨もあり、国に依存せずに流通するデジタル通貨です。

今後もデジタル通貨の利用は広がることにはなりますが、通常の現金であれば、偽札などの偽装防止の技術が織り込まれていますが、デジタル通貨においても、「ブロックチェーン」のようなデジタル技術により、より安心して利用できる通貨にしていく必要があります。



「和銅遺跡」の「和同開珎モニュメント」と「聖神社」

<通貨のはじまり>

秩父市には、黒谷地区一帯に「日本通貨発祥の地」として有名な「和銅遺跡」があります。

西暦700年頃から武蔵国・秩父郡(当時)から産出した純度の高い自然銅を、朝廷に献上したことから、日本最初の貨幣「和同開珎」を発行したと言われています。

特に、銅銭は、金や銀と違い流通しやすい通貨として、物々交換の手間を省くために使用されました。そのことから、銅銭は日本の通貨制度の基礎となり、その後の日本の通貨発展に影響を与えたと言われています。

通貨は経済活動における財・サービスの交換手段として機能し、私たちの生活にかかせないものでもあります。

10月に入ると来年の春闘の準備が始まります。また、2024年度には新紙幣も予定されています。その中でも埼玉県の三偉人である渋沢栄一翁の新1万円札も発行されます。

来春闘においても、継続した賃上げの取り組みにより、渋沢翁の新紙幣を見据えた春闘をめざしたい。

2023.9.19